

●ペレットストーブの市本庁舎 1 階「市民ホール」への設置について

12月22日から、市本庁舎1階「市民ホール」に、間伐材などの木質バイオマスを加工したペレットを燃料とするペレットストーブを設置します。

札幌市では、暖房等に使用している化石燃料を道内の森林資源を活用した木質バイオマス燃料に転換することにより地球温暖化対策を推進するとともに、間伐による森林整備の促進、さらには新たな環境産業の振興と雇用創出を目指しています。この取り組みを進めるため、市有施設においては率先して木質バイオマス燃料を使用する機器の導入を行っているところです。

環境に優しいペレットストーブを広く市民に体感してもらうことで、今後、民間企業や一般家庭においてもその利用が広がっていくことを期待しています。

1 設置場所

市本庁舎 1 階「市民ホール」(南東側)

2 設置機器

豊臣工業株式会社製「ペレット Mini-A」(写真参照)

燃焼方式：強制排気形

発熱量：2,500～6,000kcal/時間

燃料消費量：0.6～1.4kg/時間



3 使用開始式

(1) 日時

平成 21 年 12 月 22 日 (火) 午前 10 時 15 分～

(2) 出席者

上田市長、菊谷 秀吉伊達市長^{※1}、市内の小中学生^{※2} など

※1 木質ペレット生産者代表として出席。伊達市は自治体として木質ペレットの製造に取り組んでいる。

※2 「さっぽろこども環境コンテスト 2009」で最優秀賞を受賞した平岡南小学校・北野中学校、優秀賞を受賞した川北小学校の児童・生徒。開始式終了後、環境に対する取り組みについて市長と懇談する予定。

(3) 内容

- ・ペレットストーブのお披露目
- ・上田市長、菊谷伊達市長のあいさつ
- ・菊谷伊達市長から上田市長への木質ペレット受け渡し など

(4) 関連行事

ペレットストーブ設置場所周辺に、木質バイオ燃料に関するパネルや木質ペレット等を展示します。展示期間は、平成 21 年 12 月 21 日 (月) から 25 日 (金) まで。

4 ペレットストーブの普及に向けた札幌市の取り組み

(1) 市有施設等へのペレットストーブの導入

- ・札幌芸術の森「佐藤忠良記念子どもアトリエ」(平成 20 年 9 月～)
- ・札幌市リユースプラザ (平成 21 年 1 月～)
- ・第 29 回さっぽろホワイトイルミネーション」大通会場 (西 3 丁目) のパビリオン (平成 21 年 11 月 27 日～平成 22 年 1 月 3 日) など

(2) ペレットストーブ購入経費に対する補助

新エネ・省エネ機器複合的導入補助制度「札幌エネルギーeco+プラス」の市民向け補助制度において、太陽光発電設備などの他の新エネ・省エネ機器と同時にペレットストーブを導入する場合、1台あたり5万円を補助します。

なお、ペレットストーブ単独購入に対する補助制度「札幌エネルギーecoプロジェクト」は本年度受付を終了していますが、来年度も実施する予定です。

問い合わせ先

環境局環境都市推進部環境計画課（環境産業推進担当） 大竹

電話：211-2877